

会 議 名	第 1 回赤坂地区地域情報誌作成支援及び印刷業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和 3 年 1 2 月 2 日(木)午前 9 時から午前 1 0 時まで
開 催 場 所	赤坂地区総合支所 2 階大会議室
委 員	出席者 5 名 委員長 赤坂地区総合支所長 中島 博子 副委員長 赤坂地区総合支所協働推進課長 中島 由美子 委員 麻布地区総合支所協働推進課長 瀧澤 真一 委員 芝浦港南地区総合支所協働推進課長 野々山 哲 委員 企画経営部区長室長 横尾 恵理子 欠席者 なし
事 務 局	赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当 金子係長 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 吉良、高梨、吉田
会 議 次 第	1 開会 2 副委員長の選出 3 赤坂地区地域情報誌の発信事業について 資料 1 4 事業候補者選考 (1) 業務委託事業候補者募集要項(案)について 資料 2-1 資料 2-2 資料 2-3 (2) 事業者選考に係るスケジュール(案)について 資料 3 (3) 審査の流れについて 資料 4 (4) 事業者選考の審査基準(案)について ①第一次審査 資料 5 ②第二次審査 資料 6 5 第 2 回及び第 3 回の選考委員会について(日程調整) 6 その他
配 付 資 料	資料 1 赤坂地区地域情報の発信事業概要説明 資料 2-1 募集要項(案) 資料 2-2 仕様書(案) 資料 2-3 応募様式 資料 3 事業者選考に係るスケジュール等について(案) 資料 4 審査の流れについて 資料 5 第一次審査表(案) 資料 6 第二次審査表(案) 参考資料 1 港区赤坂地区地域情報誌作成支援及び印刷業務委託事業候補者 選考委員会設置要綱 参考資料 2 選考委員会名簿

会議の結果及び主要な発言（メモ）

(発言者)	
	1 開会
	2 副委員長の選出
委員長	副委員長は、B 委員を選出します。
B 委員	お引き受けします。
	3 赤坂地区地域情報誌の発信事業について
	(事務局から資料 1 について説明)
A 委員	英語版の発行は年 1 回でよろしいのですか。
事務局	予算面や赤坂地区の外国人口等を鑑みて、年 1 回の発行としています。
B 委員	ダイジェスト版として発行せず、日本語版の中で、やさしい日本語を活用した記事や、
	英語記事の掲載を検討してもよいと思います。
E 委員	区のホームページに英語版を掲載してもよいと思います。
	4 事業候補者選考
	(1) 業務委託事業候補者募集要項(案)について
	(事務局から資料 2-1、2-2、2-3 について説明)
B 委員	資料 2-3 の第 7 号様式について、英語版の発行のタイミングも自由に提案してもら
	うのでしょうか。
事務局	英語版はダイジェストとして、年度末に発行することを想定して提案いただきます。
B 委員	資料 2-3 の第 7 号様式について、分科会及び紙面の構成・内容を発展させるための
	スケジュールだけでなく、中身についても提案を求めた方がよいのではないでしょ
	うか。
事務局	記載します。
C 委員	編集と印刷を一緒に契約する理由は何ですか。また、補足資料については一切受け付
	けないのでしょうか。要項の体裁をきちんと見直した方がよいです。
事務局	タイトなスケジュールの中、編集と印刷を別にすると発行に間に合わない恐れがある
	ため、一緒にしています。契約係にも事前に了承いただいております。資料 2-3 の
	第 3 号様式～第 7 号様式等の下段に、別紙についての記載がございます。要項の体裁
	は修正します。
C 委員	あらかじめ別紙の枚数や規格等を指定した方が、公平性を保てるのではないでしょ
	うか。
A 委員	様式のための提出とするか、別紙の提出も求めるのか、ご意見いかがでしょうか。
B 委員	限られたスペースにまとめる力も大切ですが、各様式で別紙を 1 枚まで認めて良いと
	思います。
全員	異議なし。
E 委員	資料 2-3 の第 5 号 (1) 様式について、スタッフの人数だけでなく、カメラマン等、
	専門的な人員配置も求めた方がよいと思います。
事務局	対応します。
D 委員	英語版が 1 号分だけ前年度分が入っているのはなぜですか。

事務局	2年前まで年間4回発行してましたが、昨年から発行回数が変わり、1号分ずれています。
A 委員	他支所はどのように発行していますか。
C 委員	A支所は、日本語版発行した後、1号分遅れて英語版を発行しています。
D 委員	B支所は、英語版を単独で発行していませんが、日本語版の一部に毎号、英語の記事を掲載しています。
A 委員	日本語版の中で英語の記事を載せられたら良いと思います。
B 委員	英語版をやめ、その分の予算で日本語版のページ数を増やせるか等、検討するべきです。
C 委員	英語版の仕様を急に変更すると他の資料に影響が出る恐れがあるので、英語版の扱い方について今回のプロポーザルで提案させ、実際の変更は契約2年目以降にしてみたいかがでしょうか。
全員	異議なし。
(2) 事業者選考に係るスケジュール(案)について (事務局から資料3について説明)	
委員長	ご意見等ありますか。
全員	異議なし。
(3) 審査の流れについて (事務局から資料4について説明)	
C 委員	第二次審査のプレゼンテーション及びヒアリングの時間配分はどうお考えですか。
事務局	プレゼンテーションに10分、ヒアリングに15分、プロジェクター等の機材準備に5分を予定しています。
A 委員	プロジェクターを使用する必要はありますか。企画提案に使用する紙面だけで良いのではないのでしょうか。
B 委員	紙面に加え、補足説明をする場合は使用しても良いと思います。機材の準備時間は含める必要はないと思います。
C 委員	機材の準備時間は含めない方が良いです。
E 委員	紙面の提案に加え、その他アピールしたい内容も含めるのであれば、プロジェクターを使用しても良いと思います。
A 委員	機材トラブルで時間をロスする恐れがあるのでプロジェクターは使用せず、紙面と概要版の資料のみの提案でいかがでしょうか。
全員	異議なし。
委員長	時間配分はどうでしょうか。
C 委員	プレゼンテーションに10分以内、ヒアリングに20分程度で良いと思います。
全員	異議なし。
A 委員	プレゼンテーションはどの立場の方にしてもらいますか。また、人数はどの程度としますか。
事務局	実際に編集等の作業をする方とします。人数は2名程度とします。
(4) 事業者選考の審査基準(案)について (事務局から資料5、資料6について説明)	

B 委員	多言語対応について良い提案があった場合に備え、資料5の項番4（2）に採点基準に関する文言を入れた方が良いでしょう。
A 委員	多言語対応について触れる何か一文を入れてください。
E 委員	質問内容に適した回答がなかった場合は何点としますか。
事務局	区のプロポーザルの基準に従い1点となります。
C 委員	資料6の項番5の係数が高いのは、この項目が課題となっているからですか。
事務局	その通りです。
	5 第2回及び第3回の選考委員会について
事務局	第2回選考委員会は1月31日（月）に、第3回選考委員会は2月10日（木）に実施します。
	※会議終了後、第2回選考委員会は1月28日（金）に変更となった。
	6 その他
	7 閉会